

WHO等国際機関の車椅子・支援技術関係 資料翻訳事業

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-15 浜松町三電舎ビル 2 階

助成事業の概要

WHO 等が発行している車椅子・姿勢保持関係資料を、当会の国際協力事業の参考および世界の動向を知るための資料として翻訳・公開した。今回翻訳したものは以下の通り：

- ・車椅子供与ガイドライン
- ・支援技術に関する世界報告書（改訂版）
- ・優先的支援製品リスト

事業実施日程は以下の通り：

- 2024.4 資料翻訳開始
- 2024.6 支援技術に関する世界報告書の改訂および車椅子供与ガイドライン下訳完成、姿勢保持専門家、リハビリ工学技士、理学療法士との閲読・翻訳検討会を開催。
- 2024.10 修正した上記 2 冊の完成稿を WHO の文献資料サイトおよび当会のウェブサイト（動画は YouTube にアップロードしリンク）にて公開（<http://www.j-aws.jp/who/>）。
- 2025.1 優先的支援製品リストの翻訳を完成、上記ウェブサイトにて公開。
- 2025.2 今年度翻訳した資料 3 部の印刷版を国内 42 か所に送付し成果を広報。
- 2025.3 事業報告書を作成。

事業の成果

今回翻訳した資料は全て本邦初訳であるが、いずれも支援技術、車椅子、支援製品およびそのサービス教育に関する世界的な指針文書である。これらの翻訳は、当協会の今後の国際協力活動における基礎資料として役立つ。また、これらの資料に通底している、WHO はじめ世界の諸機関の障害や支援技術に対する、人権重視、ユーザー中心、参加とインクルージョンの促進といった基本的な考え方を知ることが、国内の車椅子や身体障害、社会福祉に関わる団体・機関にとっても、これらのテーマに関する世界的な水準や認識を把握し、また講習などを企画し、政策を検討する上での基礎資料となる。

本事業は、これまでに多くの肯定的なフィードバックをいただいている。リハビリテーション医からの将来の講習資料のモデルにするとよいとの助言、理学療法士からの職場での研修などに活用したいとのコメント、小児理学療法士を中心にした本事業の翻訳資料を用いた講習会、WHO の障害担当者からの翻訳資料を当協会のウェブサイト 1 ページでまとめて公開していることへの賛辞に加え、国際車椅子専門家協会 (ISWP) から、同協会の国際的ネットワークづくりに本事業の成果が貢献していると感謝をいただいている。また、当会の国際協力事業においては、海外の大学関係者、車椅子・姿勢保持供与者との対話における共通の語彙・概念的基盤となり、より円滑なコミュニケーションが可能になっている。

■ 成果の広報・公表

書籍は WHO との取り決めに従い、以下の WHO のウェブサイトにて PDF 版を公開している。

- ・ 車椅子子供とガイドライン
(<https://www.who.int/publications/i/item/9789240074521>)
- ・ 支援技術に関する世界報告書
(<https://www.who.int/publications/i/item/9789240049451>)
- ・ 優先的支援製品リスト
(<https://www.who.int/publications/i/item/priority-assistive-products-list>)

また当協会のウェブサイトダウンロードページ (<http://www.j-aws.jp/who/>) を設けて動画やポスターを含む全ての資料を公開し、公衆の利用に供している。この翻訳・出版に関しては当協会の会員企業、関係者に通知し、また国内の身体障害・リハビリテーション・社会福祉・支援機器の関係機関・省庁・国際機関には印刷見本を献呈し、メーリングリストを通じて WHO-GATE などの国際的ネットワークへ積極的に広報を進めている。

■ 今後の展開

引き続き、2025 年度は以下の翻訳と出版（公開）を進めて行く予定である：

- ・ WHO-GATE 優先的支援製品教習（TAP）
(<https://www.gate-tap.org/>)

この教習プログラムは保健医療従事者が基礎的な支援製品の選択・処方・ユーザー教習・フォローアップを実践するための知識と技能を授けるために設計されており、当協会だけでなく幅広い専門団体や専門家とのネットワーク形成を通じて翻訳と広報を進めたいと考えている。

また、当協会国際委員会アジア姿勢保持プロジェクトでは、これまで翻訳した資料を参考に、また

それらにリンクさせる形で、独自の低リソース地域向け姿勢保持装置およびそのマニュアル・研修教材を作成し、それを用いた講習会をタイ・ラオスなどで開催し、海外からの研修を受け入れている。